

《担当者名》 唐津 ふさ karatu23@hoku-iryo-u.ac.jp 守田 玲菜

【概要】

成人期に多い疾患の病態や臨床検査，さらに患者の全身状態を理解し看護援助を考えるためのフィジカルアセスメントについて事例展開をまじえながらそのプロセスを学習する。

【学修目標】

1. 成人期に多い疾患の病態・検査・治療の基本，およびそれらが患者の身体・心理・社会面に及ぼす影響について理解し，必要な看護援助を考えることができる。
2. フィジカルアセスメントをによって患者の身体状態を判断し，必要とされる看護ケアを導き出すためのプロセスを身につける。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	フィジカルアセスメント	臨床検査の意義とアセスメント	唐津
2	フィジカルアセスメント	フィジカルアセスメントの実際 : 総論	唐津
3	フィジカルアセスメント	フィジカルアセスメントの実際 : 呼吸器系	唐津
4	フィジカルアセスメント	フィジカルアセスメントの実際 : 呼吸器系	唐津
5	フィジカルアセスメント	フィジカルアセスメントの実際 : 循環器系	唐津
6	フィジカルアセスメント	フィジカルアセスメントの実際 : 循環器系	唐津
7	フィジカルアセスメント	フィジカルアセスメントの実際 : 消化器系	唐津
8	フィジカルアセスメント	フィジカルアセスメントの実際 : 消化器系	唐津
9	運動疾患の病態と治療	フィジカルアセスメントの実際 : 運動器系 骨折の病態・治療と看護	唐津
10	運動疾患の病態と治療	変形性関節症の病態・治療と看護	唐津
11	フィジカルアセスメント	フィジカルアセスメントの実際 : 脳神経系	唐津
12	血液疾患の病態と治療	血液疾患 (貧血の病態・検査・診断・治療)	守田
13	血液疾患の病態と治療	血液がんの病態・検査・診断・治療	守田
14	血液疾患の病態と治療	血液がんの治療の基本と実際	守田
15	フィジカルアセスメント	フィジカルアセスメントの実際 : 統合	唐津

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 80% 小テスト 20%

【教科書】

系統看護学講座 専門分野 成人看護学[4] 血液・造血器, 医学書院
看護がみえるVol.3フィジカルアセスメント, メディックメディア

【参考書】

病気がみえる vol.11 運動器・整形外科, メディックメディア

【学修の準備】

1. 以下の臓器について人体機能学，人体構造学で学んだ内容の復習をし，知識を整理したうえで講義に臨む。(各30分)
呼吸器(3~4回)、循環器(5~6回)、消化器(7~8回)、運動器(9~10回)、脳神経(11回)、血液(12~14回)
2. フィジカルアセスメントの講義を受講するにあたっては、看護技術各論・看護技術演習で学んだフィジカルアセスメントや人体機能学，人体構造学で学んだ内容について復習しておく。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP 2 , 3

【ICTの活用】

- 1 . Google Formを活用し、講義時間内に学生の理解度を把握する
- 2 . GoogleClassroomを利用して、学習課題、追加資料などの配付等を行う

【実務経験】

唐津ふさ（看護師）、守田玲菜（医師）

【実務経験を活かした教育内容】

臨床現場での看護師・医師としての実務経験を通じて得た、患者の状態を判断・把握するための知識・技術を活用し、必要とされるケアを導き出すためのプロセスを身につけられるよう実践的な教育を行う。